

外部評価(事業仕分け)結果にかかる市の対応方針

事業番号	模擬	事務事業名	敬老祝支給事業	担当課	健康福祉課																														
評価結果		田川市要改善	市の対応方針		改善																														
外部評価 (事業仕分け)時の意見、要望など	<p>【外部評価(事業仕分け)における議論時の意見、要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的が「敬愛」であり、市民がお年寄りを大事にするということであれば、現金を支給しなくても良いのではないか。</li> <li>・そもそもの目的は何か。祝うことでどうしたいのか。「事務事業シート」の目的に「長寿を祝う」とあるが、この目的を達成するために政策があり、その目的に対して回り道していないか、手段として正しいかを図るために目標がある。この関連がよくわからないということ。目的はお祝いすること。商業振興券を支給することが手段として正しいかどうか。他に祝いする手段があるのかもしれない</li> <li>・田川市の財政が厳しいのであれば金額を見直すか、今は物が溢れているので欲しくない物をもらっても困るかも。金額、支給年齢、日本の風習を考える等して「お年寄りの知恵袋ありがとう」という感謝の意を表し、支給は継続してもらいたい。</li> <li>・地域の中での敬老会事業として重点的に考えるべき。振興券給付以外では考えられないか。</li> <li>・支給年齢よりも、日々困っている人に対して物を配るよりも機会を設けるとか、どこに重心を置くかが大切なこと</li> <li>・田川市は現在厳しい財政状況であり、今後過大な負担が予想されるため、早急に手を打つべき。</li> <li>・目的は「敬老」。財政が豊かであれば、色んなものを支給しても良いが、田川市の財政状況からやめた方が良いと思う。逆に改善の余地も相当ある。</li> </ul>																																		
	<p>【評価シート記載コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢、金額の見直しが必要</li> <li>・80歳から祝い金を出すべき。今の77歳は若い。金額の改善も必要。</li> <li>・事業費削減。内容大幅見直し。</li> <li>・現行の手段では、田川市は破たんの可能性も。</li> <li>・小学校児童の手紙等、違う世代が一定の世代を敬うことが重要であるように思います。これをきっかけに世代と世代がコミュニケーションを行うきっかけとなるようなスタイルにしてみても。</li> <li>・祝金給付という手段ではなく、一旦事業を廃止して、敬老会活動への補助金や他の高齢者施策などを検討すべき</li> </ul>																																		
行政改革 推進本部 決定内容	<p>【事業の手法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給年齢及び支給額については、担当課の改正案どおり、次のとおり見直しを行う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">単位:円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>対象年齢</th> <th>変更内容</th> <th>改正後(A)</th> <th>現行(B)</th> <th>減額(A)-(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77歳</td> <td>廃止</td> <td>0</td> <td>6,000</td> <td>△ 6,000</td> </tr> <tr> <td>88歳</td> <td>現行どおり</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>99歳</td> <td>減額</td> <td>10,000</td> <td>20,000</td> <td>△ 10,000</td> </tr> <tr> <td>100歳</td> <td>現行どおり</td> <td>30,000</td> <td>30,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>101歳以上</td> <td>減額</td> <td>10,000</td> <td>30,000</td> <td>△ 20,000</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「敬老祝金」の名称をよりの確な名称に変更する。</li> <li>・支給物について、商業振興券に限定するのではなく、長寿をお祝いするという「心」が伝わるような別の方策(手紙、賞状 等)も検討する。</li> <li>・配布対象者と配布者(職員)の間で十分なコミュニケーションが取れるよう、1人あたりの配布件数を減らす等の検討をする。</li> </ul>					対象年齢	変更内容	改正後(A)	現行(B)	減額(A)-(B)	77歳	廃止	0	6,000	△ 6,000	88歳	現行どおり	10,000	10,000	0	99歳	減額	10,000	20,000	△ 10,000	100歳	現行どおり	30,000	30,000	0	101歳以上	減額	10,000	30,000	△ 20,000
	対象年齢	変更内容	改正後(A)	現行(B)	減額(A)-(B)																														
77歳	廃止	0	6,000	△ 6,000																															
88歳	現行どおり	10,000	10,000	0																															
99歳	減額	10,000	20,000	△ 10,000																															
100歳	現行どおり	30,000	30,000	0																															
101歳以上	減額	10,000	30,000	△ 20,000																															
<p>【翌年度予算について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・翌年度予算より、「77歳の6千円を廃止」し、「99歳、101歳以上を1万円に減額」する。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祝金の配布をより地域に密着した職員に依頼するために、配布者(主に管理職)の住所地の情報提供に係る協力を総務課に願います。</li> </ul>																																			